

三芳合金工業(埼玉
県三芳町、萩野源次郎
社長、049・258
・3381)は、各種

銅合金部材の製造を手
がける。親会社でその
製品販売を手がける大
和合金(同)とは一心
同体で、ほぼ全製造業
種にまたがる需要に応
える。中でも受注の伸
びが著しいのが航空機
向けの軸受部材。20
13年度は30ヶ前後た
った出荷が、18年度に
は150ヶにまで伸長
する見込みだ。

三芳合金工業

萩野社長は「10数年
前までは、航空機向け
部材と知らずに製品供
つた出荷が、18年度に
は150ヶにまで伸長
する見込みだ。

萩野社長は「10数年
前までは、航空機向け
部材と知らずに製品供
つた出荷が、18年度に
は150ヶにまで伸長
する見込みだ。

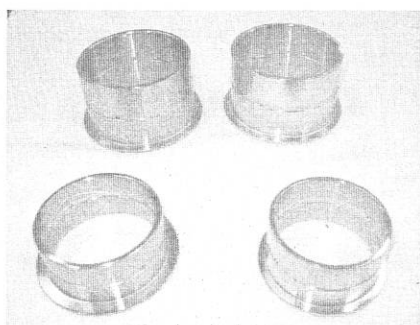
上昇気流に乗れ

航空機産業を支える企業と技術 ⑭

軸受部材 最終製品供給を模索

ディングギア)向け軸
受(ブッシュ)部材の
シェアは高い。

それでも04年頃に、
これら軸受部材の一部
が米国のメーカーに流
れたことがあった。だ
が品質などの面で、そ
の翌年には全量が三芳
合金工業に戻ってきた。
こうしたエピソードか
ら、自社の品質の自信
につながり、航空機需
要の本格開拓に乗り出
すきっかけとなった。



航空機の足回り
部材(ランディ
ングギア)の軸
受け(ブッシ
ュ)部材

野大手メーカー
のリープヘルか
ら補修、新造機
向け双方の部材
供給資格を取得

同社は08年頃から、
国内外の航空関連産業
展に相次いで出展。そ
の結果、かつてはゼロ
だった海外の航空機整
備会社向け取引が3社
に拡大。1年ほど前に
はフランスの大手航空
機ユニット装置メーカ
の補修向け部材供給
資格を取得。さらに16
年末にはドイツの同分
手応えを感じている。

今後の課題は、さら
な付加価値の向上
だ。部材だけの供給か
ア用ブッシュを試作す
ら、最終的な航空機部
品供給が可能な体制作
りを模索する。埼玉
と埼玉産業振興公社
の支援の下、メッキ工
正広

【企業メモ】三芳合金工業のルーツは
戦前の軍需工場にさかのぼる。戦後の一
時解散を経て、銅合金事業メーカーとし
ての一步を踏み出した。金属溶解から、鑄
造、鍛造、熱処理、切削加工、素材検査まで
の一貫生産により、規格外品にも柔軟に
対応する。全業種に幅広く需要領域を持
つが、航空機向けを筆頭に、鉄道、エネル
ギー分野での大きな伸びしろを見込む。

程で吉野電化工業(埼玉
玉県越谷市)、非破壊
検査工程で吉増製作所
(東京都あきる野市)

(川越支局長・岡部